



つべつ

第116号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和8年7月1日発行
<https://tsubetsu-shakyo.or.jp/>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>

今年も「社協めぐり」🍷 スタートしました 津別小2年生と🍷種いもを植えました



黒大豆を植えています



農作業の達人と一緒に
種いもを植えをしています



作業しながら話は盛り上がります



「今年もたくさん収穫できますように！」と願いを込めて“パチリ！”



畝を作るのに苦戦中

今年も「社協めぐり」の活動がスタートしました。

5月27日、青空の下でボランティアの皆さんと、黒大豆・ポップコーン用とうきび・寄贈いただいたさつまいもの苗を植えました。

また、今年も津別小学校2年生の生活科「やさいをそだてる」の学習を、「農作業の達人」である社協めぐりのボランティアさんがお手伝いすることになりました。今回は達人に教わりながら、子どもたちが1人2つつじゃがいもの種いもを植えました。

7月には草取りを行い、9月にはボランティアさんと収穫をする予定です。

今年もたくさんのじゃがいもが実るといいですね。

🍷 この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

令和7年度事業と決算の報告

令和7年度も、町民の皆さまから会費・寄付金・ボランティア支援などたくさんの善意をいただき、事業を展開してまいりました。令和7年度の事業報告と収支決算が6月25日の評議員会において、次のとおり承認されました。

I 事業報告の概要

令和7年度は、新型コロナウイルス感染症は常態化し、地域の方は、感染対策に気を付けながら地域活動を続けてきています。

津別町社会福祉協議会は、意思決定支援フォローシステム事業と「地域におけるご近所つきあい調査」を主な事業として取り組んできました。

また、「第3期地域福祉計画・第6期地域福祉実践計画（令和7年度～令和11年度）」の1年次事業の評価を行ってきています。

地域福祉計画の基本理念は、「助け合い見守りで安心して住み続けられるまち つべつ」を目指し、住み続けられるまち・住みたいまちであるために、社会福祉協議会では、地域の現状から、事業の見直し評価を行いながら福祉活動を進めています。

3月に理事・監事・評議員対象の研修会を開催し、道社協から「地域共生社会の実現に向けた社会福祉協議会の役割～地域での取り組みについて基本要項2025から考える～」と題し、地域福祉や社会福祉協議会の使命や組織について説明があり、個別支援と地域づくりの一体的展開を行っていくことが新たに「社会福祉協議会基本要項2025」に加わったことを学びました。

重層的支援体制整備事業を行う中で、包括的な相談支援体制を整備するとともに地域の支え合い活動の充実、地域づくり活動の支援を行うなど、地域福祉の推進に努めてきました。

現在、民法の改正や社会福祉法の改正の動きがある中、意思決定支援の重視が問われ、より本人の意思の尊重が必要となってきています。

今年度実施した意思決定支援フォローシステム事業と「地域におけるご近所つきあい調査」の分析から課題を整理しながら、令和8年度では、個別の困りごとに対して、様々な社会資源と結びつけながら相談対応するとともに、地域における課題の共通性や活動の必要性などに着目して、業務を遂行していきます。

なお、介護事業については、利用者がいなく訪問入浴介護事業を令和8年3月31日付で廃止としたところです。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

II 重点項目

1 重層的支援体制整備事業実施による包括的相談支援体制の充実

- (1) 重層的支援体制整備事業の活動
- (2) 相談支援包括化推進の役割と機能
- (3) 身近な福祉相談所ぽっと
- (4) ひきこもり者等社会的孤立者への支援
- (5) 権利擁護に関する取り組みの充実

2 地域の支え合い活動の推進

- (1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み
- (2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

3 生活支援サービスの充実

- (1) 生活支援サポート事業の推進とコーディネーターの取り組み
- (2) 認知症の人と家族の支援など認知症地域支援推進員の活動
- (3) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施
- (4) 既存の福祉サービス事業等の充実

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

5 町内の社会福祉法人や介護・福祉事業所との連携強化

6 社会福祉協議会事務局活動の充実

- (1) 社会福祉協議会財政基盤の確立
- (2) 広報活動の充実
- (3) 事務局体制の整備

【実施した主な事業・サービス】

◆あんしん生活サポートセンターの運営 ◆いきいきサロン活動の推進 ◆介護予防いきいきポイント事業 ◆相談支援包括化推進事業 ◆多機関協働推進事業 ◆アウトリーチ継続支援事業 ◆地域づくり事業 ◆参加支援事業 ◆生活支援体制整備事業 ◆生活支援サポート事業 ◆認知症地域支援・ケア向上事業 ◆ひきこもり支援推進事業 ◆福祉有償運送事業 ◆命のバトン配布事業 ◆給食サービス ◆介護器具の貸し出し ◆ふれあい郵便 ◆広報活動の推進 ◆ボランティア活動の推進 ◆安心電話の助成 ◆地域老人懇談会への助成事業 ◆津別町老人クラブ連合会事務局の運営 ◆福祉資金貸付事業 ◆訪問介護 ◆訪問入浴介護 ◆障害者の支援

◆令和7年度 地域福祉推進事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	68,094,671	会費・寄附金・補助金・繰越金等
支 出 合 計	67,029,846	人件費・事業費・事務費等
収入 - 支出	1,064,825	次年度へ繰越

◆令和7年度 介護事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	27,860,688	介護保険収入・受託金・繰越金等
支 出 合 計	22,891,106	人件費・事業費・事務費等
収入 - 支出	4,969,582	次年度へ繰越

◆令和7年度 福祉資金貸付事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	2,128,715	償還金収入・繰越金等
支 出 合 計	682,220	貸付金等
収入 - 支出	1,446,495	次年度へ繰越

ボランティア



登録しませんか？

社会福祉協議会で行っている地域活動に対し、多くのボランティア登録者が活躍されています。新しいことを始めてみたい、お友達と楽しく活動できる趣味を見つけたい、誰かの役に立つ役割がほしい、そんな思いにぴったりのボランティア活動！“すきま時間”でできる健康づくり、生きがいづくりにお役立てください。



給食サービス
配達ボランティア

地域のサロン活動
楽しく集まり介護予防
趣味が活かせるかも？

社協あぐり
黒大豆やだいこん
いい汗かけます



絵手紙作成！
ひとり暮らし高齢者へ
届けています



詳しくは社会福祉協議会に
お問い合わせください

ボランティア登録研修のお知らせ

(津別町介護予防いきいきポイント事業)



令和 **8** 年 **7** 月 **29** 日 (水)

9:30~11:30

津別町役場 健診ホール

○研修内容

- ・ ボランティア活動とは
- ・ 対象者とのコミュニケーション

住民同士の支え合い活動として、施設や社協事業などで行ったボランティア活動に対してポイントが付与されます。

そのポイントは津別町商品券と交換することができます。今回の研修会で活動登録してくれる方を大募集！！

たくさんのご参加お待ちしております。

申込み・問合せ：津別町社協 76-1161

みんなが読める自治会だより

豊永第3自治会には、昨年8月から介護施設に勤めているフィリピン出身者が暮らしています。自治会だよりを作成している総務部長として、日本語表記はまだ読めないだろうと12月に思いついて、2人のために英語版でたよりを作成し始めました。



現職時代、ガリ版を使っていた作業から、タイプやPCでいろいろたよりを作成してきた成果か、丸一日かかる作成時間も気にならない。届けているけど、今度ゆっくり感想を聞いてみようかと話をしていた。



豊永 藤村 勝

藤村さんは、自治会役員・身近な福祉相談所ぽっとの担い手として活動しています。他の担い手・サポーターも見守り活動の中で、年末防犯パトロールや春の交通安全運動でこどもたちの登校時に旗ふって活動しています。

「地域のことを知ってもらい、住んで暮らしやすいと感じてほしい。」と、たよりの作成に情熱を傾けています。フィリピン出身の方も職場の理解があり、自治会の行事へ参加できるように勤務日の割振りをしてくれたと喜んでいました。

津別中学校17名

津別のまちを車いすで歩いてみました



6月12日、津別中学校の3年生と一緒に「総合的な学習」の一環として屋外での車いす体験を行いました。

授業の初めに、車いすの基本的な操作方法について学んだ3年生は、3人1組となって「車いすを押す人」「車いすに乗る人」「安全確認をする人」の3つの役割を交代しながら、中学校からウッドルームまでを往復しました。

ウッドルームでは、車いすを持ち上げて階段を上ったり、図書館内を移動したり、エレベーターの乗り降りなど、さまざまな活動に挑戦しました。

学校に戻ったあとは、3つの役割を通して気づいたことや感じたことについてグループで話し合い、意見をまとめました。生徒からは「車いすを押している時に、想像以上に傾いて安定させるのが大変だった」「もっと周りを確認すればよかった」「お花や景色の話をしたら気持ちが和み、コミュニケーションの大切さを感じることができた」などの意見が出ました。

学生らしい素直な視点や思いやりのある意見が多く見られ、有意義な学習の機会となりました。





家族介護者の茶話会の開催のご案内

日頃から介護を頑張っている皆さん、ちょっと一息つきませんか。

介護の悩みや、思わず笑ってしまうようなエピソード、誰かに聞いてほしい気持ち、同じ立場だからこそ分かち合える思いを、ざっくばらんにお話しできる交流の場です。

「こんなことで悩んでいるのは自分だけかな」、「誰かの工夫を聞いてみたい」、「ただ誰かと話したい」そんな気持ちを、ふっと軽くしてくれる時間になるはずですよ。美味しいコーヒーをご用意しておりますので、どなたでも気兼ねなくご参加いただけます。

日 時	9月16日(水)
	13時30分～14時30分
場 所	津別町役場 健診ホール
参加対象	ご家族の介護をしている方。過去にしていた方。
締 切	9月11日(金)まで
	※参加される方は必ず申し込んで下さい。
参加費	無料
申込先	津別町社会福祉協議会 ☎ 76-1161



オレンジカフェの開催について

4月20日、6月3日にオレンジカフェを開催しました。どちらも多くの方に参加して頂きました。



赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をお願い

日頃より、津別町共同募金委員会の活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、北海道共同募金会において多額の募金の使途不明金が発生し、町民の皆さまにはご心配とご不信をおかけしていることをお詫び申し上げます。

北海道共同募金会は、6月15日（月）に記者会見を行いました。現在も調査が進められており、全容解明にはなお時間を要する見込みです。今後も丁寧な説明を尽くし再発防止と信頼回復に全力で取り組んでいただきたいと思います。

赤い羽根共同募金は地域福祉を支える大切な財源であり、各市町村で高齢者、障がい児・者、子育て支援、地域福祉活動など、さまざまな取組に活用されていますので、今年度も活動を継続していく予定です。また、皆さまからお預かりした募金を適正に管理するため、複数人による確認や会計処理の徹底など、適正な事務管理に努めているところです。

今回の事案を重く受け止め、より一層の透明性と信頼回復に努めてまいります。町民の皆さまには、共同募金の趣旨をご理解いただき、引き続きあたたかいご支援とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

津別町共同募金委員会より

令和8年度の赤い羽根ピンバッジが完成

今年度で12年目を迎える赤い羽根ピンバッジ。今年度は応募の中から津別町在中の女性の方に決まりました。デザインについては、まる太くんと津別峠とのコラボです。6月中にはピンバッジが完成しました。配布場所については、社会福祉協議会窓口、道の駅あいおい等に設置しております。今年の夏祭りでも募金ブースの設置を予定していますので、是非とも見に来て下さい。他の募金グッズもありますので募金をお願いします。

※ピンバッジ募金については、500円以上の募金で1個お渡ししています。制作費を除いた金額が地域の福祉活動を応援する「赤い羽根共同募金」へ全額寄付される仕組みとなっております。



心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和8年3月18日から令和8年6月17日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

達美西山幸子様・相生秋山健男様・共和野田忠様
旭町佐藤勝雄様・白尾勝憲様・豊永松田一生様

◆その他

柏寿園老人クラブ様

指定寄付

◆津別ライオンズクラブ様 使用済切手447枚

指定寄付

◆津別町老人クラブ連合会へ 幸町加藤洋子様
◆岩富自治会へ 岩富細川洋子様
◆相生第2自治会へ 相生秋山建男様



つべつ護美の会様より

リサイクル市の益金の一部を社協へ寄付いただきました。ありがとうございます。



成年後見のこと
など
ご相談下さい。



津別高校の

「町内企業&職種説明会」

に参加

今回で3年連続の参加です。

社会福祉協議会は名前だけではどんな仕事をしているのか わかりづらいので このような機会をいただいて大変感謝しております。



編集後記

豊永第3自治会が地域に住む外国人のために英語版で「たより」の作成を始めたそうです。たしかに町内で外国人を見かけることが多くなりました。国際化が進んできたということでしょうか。その中で地域の活動として対応していく皆様には頭が下がります。私たち社協職員も多様な課題に対応できるよう日々の研鑽が必要だと感じました。

(K)